

(総括監督員)

Ver.R0610

(総括監督員)

Ver.R0610

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表（建築等）

【記入方法】該当する項目の□に☑マークを記入する。

（総括監督員）

審査項目	細別	工事特性キーワード一覧表	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4.工事特性 (施工条件等 への対応)	■建物規模への 対応	※下記の対応事項に1つ以上☑が付けば2点の加点とする。 ☐ 延べ面積10,000m2以上の建物 ☐ 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物 ☐ 大空間のホール等を有する建物 ☐ その他（理由）	
	■建物固有の機能 の難しさへの対応	※下記の対応事項に1つ以上☑が付けば2点の加点とする。 ☐ 対象建物の耐震レベル ☐ 建物機能の特殊性 ☐ その他（理由）	・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において、Ⅰ類及びA類に属する工事 ・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設・美術館等、特殊機能・設備のある建物
	■建物固有の施工 技術の難しさへの 対応	※下記の対応事項に1つ以上☑が付けば2点の加点とする。 ☐ 建築材料、設備機材、工法について提案がある場合 （総合評価における技術提案は除く） ☐ 設計条件として、工法、材料及び設備システム （機材を含む）の特殊性 ☐ 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合 ☐ その他（理由）	・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切回しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
	■厳しい自然・地 盤条件への対応	※下記の対応事項に1つ以上☑が付けば2点の加点とする。 ☐ 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時） ☐ 軟弱地盤、支持地盤の影響 ☐ 雨・雪・風・気温等の影響 ☐ その他（理由）	・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液化化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事
	■厳しい周辺環境 、社会条件との 対応	※下記の対応事項に1つ以上☑が付けば2点の加点とする。 ☐ 地中埋設物等の作業障害 ☐ 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 ☐ 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 ☐ 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 ☐ その他（理由）	・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置（水替え）を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表（建築等）

【記入方法】該当する項目の□に☑マークを記入する。

（総括監督員）

審査項目	細別	工事特性キーワード一覧表	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4.工事特性 (施工条件等 への対応)	■施工現場での 対応	※下記の対応事項に1つ以上☑が付けば4点の加点とし、 最大10点とする。 【長期工事における安全確保への対応】 ☐ 12ヵ月を超える工期で事故がなく完成した工事 (ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 ☐ 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況（条件）に対応した施工・工法等】 ☐ 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、 施工の制限を受けた工事 ☐ 工程上、他工事の制約を受け、機械・人員の増強を行った工事 ☐ 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 ☐ 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 ☐ 特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の請負者が複数あ る工事 ☐ 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線が ある工事 ☐ 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 ☐ 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋 回等に制約を受けた工事 ☐ 同一敷地内における施設を使用しながらの建替え工事で、工程 の制約等が特に厳しい工事 ☐ その他（理由 _____）	
	評価	評価 _____ 点	Ver.K0504

※1 評価は受注者から提出された実施状況に関する書類を活用する。
※2 工事特性は、最大20点の加点評価とする。なお、1項目に複数の内容がある場合は又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。
※3 監督員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。
※4 評価にあたっては、監督員の意見も参考に評価する。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表（建築等）

〔記入方法〕該当する項目の「・」に○マーク、□に■マークを記入する。

（総括監督員）

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c
6.社会性等	I.地域への貢献等	貢献が非常に優れている	bより貢献が優れている	貢献がやや優れている	cより貢献が優れている	他の事項に該当しない場合
		「□：評価対象項目」 1.周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 - 主体的に取り組んだ。 - 地域の活動に積極的に参加した。 2.現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 - 主体的に取り組んだ。 - 地域の活動に積極的に参加した。 3.定期的に広報誌や現場見学会等を実施する等、地域とのコミュニケーションを図った。 - 主体的に取り組んだ。 - 地域と合同で取り組んだ。 4.道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 - 主体的に取り組んだ。 - 地域と合同で取り組んだ。 5.地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 - 主体的に取り組んだ。 - 地域と合同で取り組んだ。 6.災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 - 主体的に取り組んだ。 - 地域と合同で取り組んだ。 7.その他（ - 現場の交通体制を地域住民に周知していた。 - 通学路に指定されている場合には、学校にも協力依頼がなされていた。 - 休止中、及び中止期間中の対応が適切だった。（現場代理人が定期的に監視していた。） - リサイクル材料を使用した建設資材を使用し、循環型社会の形成に努めた。 - その他				
		（採点指標） ※ 複数の項目「・」を「○」マークにする場合、いずれかが該当すれば、評価（□を■マークにする）する。⇒ 評価項目として扱う。 ※ ただし、提出された「別紙6①」、「別紙6②」の提出内容により主体性、具体性等を前提することから、提出のない場合は、cとする。 ※ 評価項目が4項目以上・・・a、3項目以上・・・a'、2項目以上・・・b、1項目以上・・・b'、その他・・・c（別紙6提出のないものを含む） 「週休2日取得モデル工事」を実施した場合でも最大はaとする。				

(総括監督員)

Ver.R0710